

令和5年5月20日（土）、京都市左京区において、関西慶應寮和会第22回定例懇談会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の5類への移行を祝うかのような晴天の下、昨年初参加された愛知在住の寺沢さんがご家族で参加されたのをはじめ、計21名(会員18名、ご家族3名)の参加により実施に至りました。

〈出席者〉 18名 (会員のみ・敬称略・部分参加も含む)

| | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 寺沢 (S38商) | 相本 (S41法) | 中矢 (S47政) | 松尾 (S47経) | 三角 (S49工) |
| 青嶋 (S52工) | 西村 (S53商) | 袖岡 (S55商) | 山代 (S55法) | 松永 (S58工) |
| 阪本 (S61商) | 竹崎 (H02法) | 豊田 (H03理) | 茂木 (H03商) | 井内 (H04商) |
| 兵藤 (H10理) | 宮崎 (H16経) | 柿堺 (H24理) | | |

I 第1部 京都洛北・八瀬の地巡り (12:50~17:00)

今回は「みどりを愛でる」をテーマに、森と水の豊かな京都洛北・八瀬の地を訪れました。青もみじの美しい初夏の季節、近年では「映え」スポットとして有名な瑠璃光院などを巡り、自然を愛でつつ会員相互の親睦を図りました。

集合はお昼過ぎ、叡山電鉄出町柳駅を観光列車ひえいで出発、八瀬比叡山口駅で降車し、高野川沿いに歩を進めました。

①九頭竜大社

九頭竜大社発祥は、九頭竜弁財天大神のご神託を開祖・大西正治朗さんが授かった昭和29年。その歴史は比較的新しいものの、日本電産（現：ニデック）を創業された永守重信さんを始めとする熱心な信者の皆さんに支えられています。

本殿を9回まわるお千度で有名な同社ですが、そのお作法を始め、雅楽殿に納められた「九頭竜の絵」、ご神木や日本殿など、現在の神主である大西正美さんにご案内いただきました。



観光列車ひえいで出発



「九頭竜の絵」は大迫力



九頭竜大社本殿前で神主の大西正美さんと

②招喜猫宗総本山猫猫寺（にゃんにゃんじ）。

日本全国に点在するいわゆる猫寺の一つかと思えばさにあらず、古民家を寺院風に仕立てた猫アートの美術館です。菅長は九頭竜の絵を描かれた加悦徹さん。そのご子息であり、猫専門の画家として世界的にご活躍中の加悦雅乃（みやの）さんの作品が展示されています。

館内は襖絵～本堂～天井画に至るまで一面猫づくし、猫をテーマにした芸術作品の企画展も随時開催、さらには住職や番猫もお勤め中と、国内にとどまらず世界中から猫好きが集まるまさに聖地となっています。

こちらでも館長直々に館内をご案内下さり、お土産にと企画展「世界の猫名画展」（～8/31開催中）のグッズをいただきました。

この後、来た時とは逆に高野川沿いを散策し、ルイ・イカール美術館にてアール・デコ美術を鑑賞しながらしばしの休憩となりました。



猫猫寺にはしっかり本堂も

加悦雅乃さん作「奇怪な神話」

③瑠璃光院

瑠璃光院の歴史は、京都電燈などを創業した田中原太郎が当地に構えた庵に始まります。三条実美により「喜鶴亭」と命名されたこの地が個人別荘となった大正～昭和にかけて、現在の建物・庭園が造営されています。その後は、昭和17年に京都電燈の事業を継承した京福電気鉄道の所有を経て、平成17年に浄土真宗無量寿山光明寺により寺院に改められました。「喜鶴亭」の名は茶室に受け継がれています。

公開期間が限られている同院、瀟洒な山門や優美な「臥龍の庭」も知られていますが、やはり何と言っても書院2階から望む「瑠璃の庭」が今最も有名でしょう。机の天板に映り込む光景は日本屈指の「映え」スポットと名高く、今回は初夏の青もみじを堪能しました。

この他院内では、抹茶と限定茶菓子をいただき、写経も体験と、大変盛りだくさんな経験をさせていただきました。



瑠璃光院（書院）の絶景

II 第2部 懇親会 (17:00~19:30)

今朝降り立った八瀬比叡山口駅に戻り、駅前すぐの八瀬平八（京都市左京区）にて、懇親会が開かれました。

青嶋会長の挨拶、懇親の場には5年ぶりにご出席の中矢さん、神奈川からご参加の柿塚さんより近況報告をいただき、同店評判の鰻料理を堪能しながら、お酒と心地よい疲れを楽しみました。

III 編集後記

今回も皆さまお元気にお集りいただくことができました。「みどりを愛でる」のに加え、ウォーキングでの健康増進も図られる、心身ともに大変充実した会になったのではないかと思います。誠にありがとうございました。

今回定例会当日の午前、個人的に本能寺の宝物殿を訪問しました。信長ゆかりの工芸品や刀剣に加え、同寺も舞台としている映画「るろうに剣心」で実際に使用された「逆刃刀」も展示されていました。

続々入場していく若い方々の姿を見るに、虚実混じっていようとそれが教養を深めるきっかけになれば良いのかなと感じられました。私自身、何事も寛容に受け入れながら、生涯知識を蓄えていければと思った次第です。

今後も楽しく有意義な活動を続けていく所存ですので、皆さまよろしくお願ひします。



高野川沿いを散策



写経も体験

以上



瑠璃光院山門前で全員集合



懇親会まで大満足のご様子